

# 製品安全データシート

[会社名] 株式会社シーアンドシー技術情報  
[所在地] 東京都渋谷区南平台町 8-14-104  
[担当部門] FM・DF 事業部  
[電話番号] 03-5456-1771  
[FAX 番号] 03-5728-5045

[作成] H26-06-21

---

## 1. 化学物質

製品名 エバーシオン・W-214MC

用途使用上の制限 環境防虫忌避施工薬剤  
医薬品製造販売の制限 環境防虫忌避薬剤、製造販売

---

## 2. 危険有害性の要約

[重要危険有害性及び影響]

GHS分類

可燃性液体

物理化学的危険性

分類出来ない

健康に対する有害性

分類出来ない

急性毒性(経口)

分類出来ない

急性毒性(経皮)

分類出来ない

急性毒性(吸入-蒸気)

分類出来ない

急性毒性(吸入-粉塵ミスト)

分類出来ない

皮膚腐食性/刺激性

分類出来ない

目に対する重要な損傷/目の刺激性

分類出来ない

呼吸器感作性

分類出来ない

皮膚感作性

分類出来ない

生殖細胞変異原性

分類出来ない

発ガン性

分類出来ない

生殖毒性

分類出来ない

特定標的臓器、全身毒性(単回暴露)

分類出来ない

特定標的臓器、全身毒性(反復暴露)

分類出来ない

吸飲呼吸器有害性

分類出来ない

環境に対する有害性

分類出来ない

水性環境急性有害性(急性)

分類出来ない

水性環境急性有害性(慢性)

分類出来ない

ラベル要素	シンボルナシ
絵表示	
注意喚起語	ナシ
危険有害性情報	分類出来ない
予防策	分類出来ない
対応	分類出来ない
保管	容器を密封し日光から遮断し冷暗所で保管する。
廃棄	国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄する。
使用上の注意	製品安全データシートを参照して下さい。

### 3. 組成、成分情報

#### 天然由来物質に共力剤を添加した水溶性防虫忌避剤

単一製品・混合物の区別	混合物				
製品名	ヤシ油由来物質	デンプン	MC:マイクロカプセル	水溶化剤	共力剤(一部非公開)
	ヒパテルベン油	トレハロース	トレイル、ニーム由来物質		防虫菊、カブサイシン
安衛法(官報公示整理番号)	MITI準ず	MITI準ず	MITI準ず	MITI準ず	MITI準ず
CAS No.	509087-82-5	9003-20-7	非公開	非公開	一部非公開
	006-64-2	738602-93-2			404-86-4
	123-94-4	6138-23-4			
			防虫忌避剤	植物抽出乳化浸透剤	シエル、防虫忌避剤
Content	非公開	非公開	非公開	非公開	
特徴	注: 無菌業態で、製造から包装しています。開封時速やかに使用し保管下さい。 ※エバーション・W214 の忌避効果を 3~5 倍アップするため忌避成分(MC 化成分はトレイル系成分とニーム系成分)をマイクロカプセル化し持続性を持つようにした製品です。				

### 4. 応急措置

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
皮膚に付着した場合	多量の水や石鹸で洗い流し症状が出た場合医師の診断を受ける。
目に入った場合	目に入った場合水で良く洗い必要があれば医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	水で口の中を洗浄しコップ 1~2 杯の水又は牛乳を飲ませる。 症状によっては医師の診断を受ける。
応急措置するものの保護	〃
医師に対する特別注意事項	成分情報を告げる。

### 5. 火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、水溶性液体用泡消火剤、霧状水、二酸化炭素、砂による。
使ってはならない消火剤	棒状の水消火は火災を拡大の危険性がある。
火災時の特定危険有害性	〃
特定の消化方法	火元への燃焼を断ち適切な消火剤で消化する。 消火作業は、風上から行う。
消火を行う者の保護	消火作業は適切な保護具(耐油手袋、メガネ、安全マスク)を着用する。

燃焼ガスには一酸化炭素ガスが含まれるので、煙を吸入しない。

---

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業には必ず保護具(手袋、メガネ、安全マスク)を着用する。
保護具及び緊急時処置	多量の場合、人を安全に退避させる。必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項	漏出した製品が河川などに排出したり、環境に影響を及ぼさないこと。
除去方法	砂、オガクズなどの吸着剤で吸着し取り除きその後水で洗浄する。 多量の場合盛り土で囲い流出を防止し安全な場所に導いてから処理する。
二次災害の防止	

---

## 7. 取り扱い保管上の注意

取扱い	
技術的対策	取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄用設備を設置する。
注意事項	眼、皮膚、呼吸器への接触をさける。
安全取り扱い注意事項	作業場の換気を充分行う。 適切な保護具の着用をする。 取り扱い後はよく洗うこと。
保管	
適切な保管条件	密栓した容器に保管する。 直射日光を避け換気の良い場所に保管する。
安全な容器包装材料	製品使用容器に準ずる

---

## 8. 暴露防止、保護措置

設備対策	取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄用設備を設置する。 取り扱い場所に換気設備を設置する。
管理濃度	設定されていない
許容濃度	
日本産業衛生学会	設定されていない
AGCGIH	設定されていない
保護具	
呼吸器用保護具	状況に応じて保護マスク着用
手の保護具	状況に応じてゴム手袋
目の保護具	状況に応じて保護メガネ
皮膚及び身体の保護具	状況に応じて長袖作業着
適切な衛生対策	情報なし

---

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态					
形状	水溶性液体	色	無色～微褐色透明		
におい	ナシ	においの閾値	ナシ		
物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲					
沸点	℃	約 90	融点	℃	2
引火点	℃	なし	初留点	℃	なし

## 燃焼又は爆発特性

爆発限界 %	なし	蒸気圧	情報なし
蒸気密度	情報なし	比重(密度)	1
溶解性	有機溶剤に不溶	水溶解性	可溶
溶媒溶解性	種類により溶解		

## オクタノール/水分配係数

自然発火温度	なし	分解温度	データなし
燃焼性	乾燥後燃焼する。	粘度	
その他のデータ	情報なし		

---

## 10. 危険性情報

原液:水溶性物質 塗布乾燥後:普通物

安定性	通常の使用では安定	反応性	殆どなし
避けるべき条件	浸透性強い、鉄が錆やすいので使用を避ける。		
避けるべき材料	データなし		

### 危険物有害性情報

皮膚刺激、呼吸器刺激、ミストで眠気めまいの恐れあり			
長期、反復暴露による臓器に影響のおそれ			
換気、安全マスク、眼鏡、ゴム手袋着用			
混触危険物質	情報なし	危険有害な分解生成物	情報なし
その他	情報なし		

---

## 11. 廃棄上の注意

残余廃棄物	第7章取り扱い及び保管上の注意の章を参照 オガクズなどに混ぜて焼却炉で少量づつ焼却処理するか都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器・包装	空容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去した後、廃棄物処理法及び関連法規ならびに地方自治体の基準に従って処理する。

---

## 12. 輸送上の注意

国内、国際法規則	航空輸送は運送基準あり。 IATA及び海上の輸送はIMDGの規則に従う。
国連分類・国連番号	該当しない
JATA@Proper Shippingr Name	該当しない
IMDG@Proper Shippingr Name	該当しない
国内法規制	陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法に定められている運送方法に従う。 海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。 航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。
輸送の特定の安全対策及び条件	第6章漏出時の処置の章を参照

第7章取り扱い及び保管上の注意の章を参照  
容器の漏れが無いことを確かめる。  
荷崩れ防止を確実にを行う。  
該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

緊急時応急処置指針番号 該当しない

### 13. 適用法令

国内適用法令	食品規格	
	毒物及劇物取締法	該当しない
	PRTR法	該当しない
	化審法	該当しない
	労働安全衛生法	該当しない
	高圧ガス保安法	該当しない
	火薬取締法	該当しない
	船舶安全法	該当しない
	航空法	該当しない
	海洋汚染防止法	該当しない
物質登録情報	TSCA(USA)	なし
	EINECS(EU)	なし

製品安全データシート作成指針と免責事項  
(社)日本化学工業会

用途使用上の制限 環境防虫忌避施工薬剤

化粧品、医薬品、農薬、原料としての製造販売の制限

環境防虫忌避薬剤のみ適用し、他用途に加工、名変再販売輸出には届の必要がある場合がある。

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。全ての科学製品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。

ご使用者各位の責任において、法規則に従い届け出や基準作成など、安全使用条件を設定くださるようお願い致します。

また、特別な取り扱いをする場合には、新たな用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。

当製品安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。

当社該当製品を再加工し販売輸出する場合、貴社の責任で届け出、認可などの処置を講じて下さい。

株式会社シーアンドシー技術情報

FM・DF事業部